

辰栄製作株式会社

〒727-0013 庄原市西本町4-18-41

☎08247-2-0972

会社概要

沿革

設立は昭和47（1972）年7月。プレス部品製造を中心に庄原市で事業を開始しました。

昭和61（1986）年には障害者雇用促進事業として第二工場を建設、金型製作および成形部品の製造を開始。

平成4（1992）年辰栄工業（有）を合併、同時に台湾事務所を新設。同年9月には新工場を新設し本社を移転しました。

平成6（1994）年には台湾の現地法人を、その翌年には中国・大連にも現地法人を設立、海外展開も積極的に進めています。

障害者雇用優良事業所表彰

広島県雇用開発協会会長表彰（昭和61年）

広島県知事表彰（昭和63年）

労働大臣表彰受賞（平成2年）



雇用状況

従業員数 93名

うち障害者数 13名

（平成14年6月現在）

事業の概要

300t以下の金属部品製造（プレス、機械加工）、
金型製作（プレス、成形）、成形部品製造

インジェクション成型、機械加工部品、半導体
製造装置のフレーム製造などを、 プレス部門

成形部門 鉄加工部門 金型部門 溶接部門

板金部門等の部門で幅広く行っています。

本社の隣接地にゴルフ練習場を設置、運営し、
多角的な経営を行っています。

障害者雇用に向けて



本社ロビー



車イス対応のトイレ。
空間的余裕が十分にと
られています



座って行う作業は車いすの人に積極的に割り振られています

取り組み、工夫

昭和61（1986）年に建設された第二工場は、設計段階から障害者雇用を視野に入れており、床に段差や配線類のないバリアフリーの環境を実現しています。また、それが同時にプレス機械のレイアウトなどにも柔軟に対応できる設計となっています。

平成4（1992）年に完成し、本社機能も持つ新工場は、バリアフリー環境をさらに徹底させています。車イスでもすれ違える入口ロビー、手すり等を完備した広いトイレなど、ノーマライゼーションの考えが行きわたった設計となっています。

「障害のある人に使いやすいものは、ない人にも使いやすい」との考えから、工場内はシンプルですっきりした機械配置となっています。

作業教育

辰栄製作株式会社の製品生産の特色として「多品種少量」があります。現在生産している製品の種類は約1万種類あり、作業内容もどんどん変化していきます。この作業教育の基本理念である「辛抱強く見守る」との考えを貫いています。



新しい仕事を受注するたび、作業教育に力を入れ、従業員の仕事の理解に十分なフォローを行うことで変化に対応しています。障害の種類や程度、本人の適性などを見極め、能力に適した作業に従事させることで障害者の職場進出に資し、工場全体の生産性向上を図っています。



Top's Interview

当社は昭和47（1972）年7月、庄原市でプレス部品製造の会社としてスタートしました。最初は今よりも小さな工場でしたが、市議会議員を拝命していた私は、（社）広島県雇用開発協会、社会福祉施設などから雇用の拡大を依頼されるようになりました。そこで「お役に立てるなら」と、社会的使命を果たす決意をしたのが障害者雇用に踏み切ったきっかけです。今もその信念は揺るいでおらず、雇用の確保、事業の推進に向けて日夜邁進しております。



代表取締役会長
高橋 辰夫さん



総務部 部長
高橋 昌子さん

高橋部長は、会社全体に目を配り調整をはかる総務部を統括されています。「当社は平成4（1992）年に辰栄工業有限会社を合併していますが、そちらは創業が昭和45（1970）年と古く、当時から障害者の方が勤務されていました。ずっと当たり前のように一緒に仕事をしているので、普段は特別『障害者の雇用』を意識したりすることがありませんね。障害のある人でもない人でも、同じ職場で一緒に仕事する以上、相手を理解し、お互いに人間関係を大事にしあえば、自然とうまくいくのではないのでしょうか」と語ってくださいました。「当社は社員同士自然にフォローしあう雰囲気ができあがっていて、ことさら上からどうこう言わなくても皆が上手にやってくれています。これは長い間勤めた者にしか分からない雰囲気かもしれませんね」

工場長

田辺 五十八さん

田辺さんは工場長として実際に現場を統括し、工場全体に目を配る重責を担われています。また、中国・大連工場の立ち上げも携わり、約3年もの間海外を飛び回られた経験も持っています。「多品種少量の流れの中、作業教育には時間がかかりますが、そこには力を入れています。いかに作業に習熟してもらえるか、正確に仕事をこなしてもらえるかがポイントです」とのこと。

「これはあくまで印象で、もちろん個人差もあるでしょうが、障害者の方にはまじめでがんばり屋の人、ハングリー精神のある人が多くいるように思います。プレスの仕事は危険性も高いのですが、まじめで責任感のある人は、障害のあるなしに関わらず当社の重要な戦力になっています」



TOPICS

福利厚生面での取り組み

辰栄製作株式会社は現在、平成14(2002)年8月のISO9001取得を目標に準備を進めています。職場環境を国際基準にとの願いは、従業員全体の利益もさることながら障害者雇用にも役立つものとの認識を持ち、積極的にチャレンジしています。

また、ボーリング大会 花見 焼き肉大会 社員旅行など、社内イベントも積極的に行っています。



工場に隣接するゴルフ練習場、庄原ゴルフガーデン。毎朝社員がボールを拾い、週末には役職者までがボール拾いの作業にいきまわります。



辰栄(大連)沖圧製品有限公司

中国工場新設

平成7(1995)年、中国・大連に100%出資の現地法人、辰栄(大連)沖圧製品有限公司を設立しました。少品種大量生産の業務は順次中国工場へ移し、庄原の工場では多品種少量の生産を続け、経営合理化を進めながら雇用を守るという理念を貫いています。